

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもデイサービスWAKUWAKU		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 5日		~ 2024年 11月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2024年 11月 5日		~ 2024年 11月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家族支援、移行支援の一環として、月に一度、全保護者様対象に呼びかけ、面談を実施し、日ごろの様子を伝え合い、「顔の見える関係」を大切にしながらお子様の支援の方向性を共に考え取り組めるようにしている	家庭や学校での様子、日ごろの感じている想いを傾聴し、必要に応じてアドバイスを行うと共にペアレントトレーニング要素を含め伝えるようにしている	面談に来てほしい保護者様に連絡するも、来所に至らないケースもあるので、訪問相談支援を積極的に行なっていく
2	5領域における、運動・感覚・認知・行動を意識し、さまざまな素材を使用して「作ってみたい」という意欲を形にすることで、充実感や満足感を得ることができ、将来を見据え、ご本人の自信に繋がるような支援を行なっている	必要に応じ、聴覚や視覚からの情報が入りやすいように絵カードや、個別指示を行う。また季節や行事に合わせ、児童が興味を持つことが出来るような製作を心掛けている	児童の想像力をもっと引き出せるような、働きかけをしている
3	5領域における、健康・生活、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性を意識し、自然(川遊び、磯遊び、山遊び等)の中での活動や季節の行事、また、他事業所との合同イベント等、多くの経験を積み、日常生活に活かしていけるような支援を行なっている	他事業所や地域活動を通して、地域や他者との関わりを少しでも多く持てるよう工夫している。その中で、多くの経験をし自己対応力を身につけ、生きる力の習得に向けて支援するよう心掛けている	地域イベントや地域との繋がりを意識して行なっていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	平日の利用時間によっては、時間やスペースが限られているため、児童が思い切り身体を動かして活動することが出来にくい	室外で思い切り身体を動かすには活動スペースが限られている	さまざまな条件が必要になるが、近くの公園や広場で活動する等の工夫が必要となる
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
こどもデイサービスWAKUWAKU		2024年 12月 1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5		事業所内に第三者委員を招き、虐待等の会議を予定している	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		職員研修（会議予定表）の年間スケジュールを作成している	
適切な支	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	3		今後公表する
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			支援前に活動計画予定表の確認を行なっている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5				
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5				
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5				
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	3		医療分野との連携は今後これからの課題と感じている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			学校の下校時間の件で、保護者との連携が難しいご家庭は、学校と連携し下校時間を知らせてもらっている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			相談支援専門員に仲介してもらい、情報共有できるように努めている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			前例がない為、今後必要な時に対応していく	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2		法改正後の対応や多職種連携について、年間を通して参加、情報共有することが出来た	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	1			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。			5		今後検討していく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5				
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5				ご家族が参加できる研修会の案内を配布している
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5				見学时、契約時に必ず行なっている
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5				

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4	コロナ禍からの影響もあり、保護者会の開催はしておらず、個別に対応している	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報研修（年2回）行なっている	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		他事業所合同で行事を行う際に、地域参加を呼びかけ、一緒に行うことが出来た	駐車場等の問題もあり、事業所に招待するよりも、地域行事に参加させてもらうことの方が多かった
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各マニュアルに沿って、年間スケジュールを元に訓練を行なっている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		風水害訓練（年1回）、消防訓練（年2回）行なっている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		個別にアレルギー表にて、確認できるよう管理している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		翌月の安全計画の策定を月1回職員研修にて決定している	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		委員会、会議にて、ヒヤリハットの情報共有を行なっている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止研修（年2回）身体拘束の適正化委員会（年2回）開催している	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5				